

子ども議会が開催されました



子ども議員から活発な提言や質問が出されました

市内各小学校の代表16人が議員となる「子ども議会」が、8月1日に市役所4階議場で開催されました。市制10周年と新庁舎開庁を記念し、次代を担う子どもたちに政治や行政に対する関心を深めてもらうため、市議会が主催して開かれました。子ども議員から

は「楽しく安全に利用できる公園や通学路を整備してほしい」「普通通っていた電車を復活させてほしい」など、普段生活している中で困っていることや、こんなまちにしたいといった子どもの目線と立場から活発な提言や質問を行って、中田市長などから答弁を受けました。子ども議会の模様は、9月7日まで、ケーブルテレビさんさんネットが長編番組が放送されますのでご覧ください。

今年も南あわじ良太郎西瓜に認定



▲杉良太郎さん(中央)と認定を受けた生産者ら

俳優で歌手の杉良太郎さんが提唱する「昔ながらのスイカ」の復活を目指し、3年前にスタートした「南あわじ良太郎西瓜」プロジェクト。今年も大きく育った西瓜の収穫祭が7月25日、美葉恋来屋で開催されました。この日は杉さんと中田市長のほか、栽培した農家の人たちが出席。収穫されたスイカを杉さんが1つずつ、香りや味、舌触りなどを確かめていました。

結果は次のとおりです。
◆富研号復刻版
山上小百合さん(複 列)
道上八千子さん(八 木)
淵本 敏夫さん(八 木)
西岡 正雄さん(洲本市)
淡路ファームパークイン グランドの丘
ひとりじめHM
山上小百合さん(複 列)
淵本 敏夫さん(八 木)
西岡 正雄さん(洲本市)
淡路ファームパークイン グランドの丘

吉備国際大学からのお知らせ

◆「ナルトオレンジ」の情報提供について
吉備国際大学地域創成農学部では、今年度より『淡路特産「ナルトオレンジ」の六次産業化に向けた総合研究』プロジェクトを立ち上げています。取組の一環として、現在、ナルトオレンジの生産・栽培状況、過去の経緯など、六次産業化に必要な基礎情報を収集しています。ナルトオレンジの生産・加工・流通に関わっておられる方(かつて関わっておられた方)、ぜひ情報をお寄せいただけますようお願いいたします。
E-mail: morino@kui.ac.jp
☎42・4708
〒同大学地域連携センター

◆生涯学習講座のご案内
①淡路人形浄瑠璃の今、昔
▼日程 9月16日(水)
▼講師 正井良徳先生(公益財団法人淡路人形協会理事長)
▼内容 淡路人形浄瑠璃の発祥と発達の過程や、文楽と比較しての特色や淡路人形が抱える課題に目をとめ、将来永続させるためのアイデンティティーは何かを考えます。
②コミュニケーション上手になろう！話す／聞く／話し合うコツをつかむ
▼日程 9月30日(水)
▼講師 青木将幸先生(青木将幸ファシリテーター事務所代表)
▼内容 毎年100回ほどのペースで会議・ワークショップ・参加体験型研修の進行役をつとめている講師が、上手なコミュニケーションのコツを伝授します。
①②共通
▼時間 午前10時～11時30分
▼申込 希望日と氏名、年齢、住所、電話番号をご連絡ください
〒同大学地域連携センター
☎42・4708

戦没学徒を追悼



▲記念塔の前で黙とうする参列者

終戦記念日の8月15日、若人の広場公園で、市主催の戦没学徒追悼献花式を行いました。中田市長をはじめ、永田県議会議員や尾原淡路県民局長、市議会議員ら30人が参列。記念塔の前で正午の時報とともに1分間の黙とうの後、白菊を献花台に供えて戦没学徒を追悼し平和への誓いを新たにしました。今年には戦後70年の節目の年に

あたり、市民が憩い、恒久平和を誓う若人の広場公園では、この日から「戦後70年特別展」を開催しました。平和の尊さを次世代へ伝え語り継いでいく機会として、開館当初に全国から収集された戦争の関連資料と、このたび一般募集を行って寄贈していた資料等を展示しています。

ケーブルテレビ事業に係る消費税の未申告について(お詫び)

このたびのケーブルテレビ事業の消費税の未申告について、市民の皆様にも多大なるご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。当該事業がテレビの受信障害対策、行政等からのお知らせを業務としており、公共性の高い事業として一般会計と一体とみなし、今年度は消費税の未申告について(お詫び) 申告の必要がないものと考えておりましたが、今回申告が必要であることが判明しました。早急に適切な納税を行うとともに、今後も市民の皆様への情報伝達、電話サービスを的確に行う所存ですので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。南あわじ市長 中田勝久

ふれあい市長室 万丈の気を吐く

終戦70年を迎えた8月15日、公園整備が完了した若人の広場公園において、南あわじ市戦没学徒追悼献花式を実施させていただきました。当日は雲一つない晴天に恵まれ、「永遠の灯」のもと、ささやかながらも厳かに献花式を挙行することができました。戦後70年を迎え、戦争体験の風化が強く懸念されています。私たちに、体験を次の世代へと語り継いでいく責任があります。さて、夏の風物詩といえば、花火大会ですが、市内においても慶野松原花火大会、福良湾海上花火大会が多くの人で賑わいました。両花火大会のみならず他のイベント等におきましても、ご尽力いただいた実行委員会の皆さん、準備、運営に携わっていただいた多くの方々には感謝申し上げます。また、7月、8月は夏休み期間でもあり、小中学生の皆さんにとっては、様々な行事や大会が多く開催される時期であ

南あわじつ子 南あわじ市長 中田勝久



▲議会に臨む子どもたち(子ども議会)

ります。8月1日には南あわじ市子ども議会が開催されました。16名の子ども議員の皆さんからの質問は、本質をついたものばかりで感心させられるとともに、答弁は市の3役、各部長が丁寧にお答えさせていただきました。三田市などで行われた兵庫県吹奏楽コンクールでは、小学校部門で、広田小学校が金賞、中学N部門の南淡中学校と中学S部門の三原中学校が銀賞に選ばれるなど、南あわじ市内小中学校の吹奏楽のレベルの高さを県下に示しました。更に、スポーツでは、三原中学校女子バレーボール部が22年ぶりに北海道で開催された全国大会に出場しました。全国的に報道され、8月16日まで開催しておりました、玉青館での松帆銅鐸速報展には5860人の方々が広く全国から来場いただきました。8月11日に発表されましたが、舌をつるす紐が見つかり再び大きな話題となつています。弥生時代、銅鐸は何に使われ、なぜ埋められたのか？今後の調査で様々なことが明らかになっていくかも知れません。私自身も大変楽しみです。松帆銅鐸が地域活性化の起爆剤になればと大いに期待しております。南あわじ市は、すばらしいふるさと資源を有するまちです。未来を担う子どもたちも健全に育ち、おおいに活躍をしていただいております。南あわじ市が今後も飛躍していくためには、子どもからすべての年代に至る市民の皆さん方のご協力が必要です。残暑厳しい時節、市民の皆さんにおかれましては、ご自愛いただきますとともに、施策へのより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。